令和６年３月５日

事業主各位

独立行政法人高齢･障害･求職者雇用支援機構

 山形支部

**令和６年度「優秀勤労障害者表彰」候補者の調査について**

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

　当機構の業務運営につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当機構では、障害者の職業的自立の増進を図るとともに、より一層の障害者雇用の促進と職場定着を図るため、厚生労働省、関係機関と協力して、障害者雇用についての関心と一層の理解を深めていただくための取組を行っています。

例年「障害者雇用支援月間」である９月に、障害者を雇用する事業主及び障害者の職業的自立を支援するため、障害者雇用優良事業所及び優秀勤労障害者の表彰を実施することとしております。

以前に優秀勤労障害者等の表彰歴のある障害者を対象に厚生労働大臣表彰及び高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰に推薦するための調査を実施することとなりました。

つきましては、貴事業所の受賞者（厚生労働大臣表彰を除く）の就労状況（障害の克服、模範的な職業人としての業績、同僚等からの敬愛等）について、別紙調査用紙の作成にご協力いただければ幸いです。

なお、審査結果につきましては当機構本部での審査終了後となりますが、表彰式典は令和６年９月に東京都内及び山形市内において行う予定としております。

また、ご連絡いただいた方の個人情報等につきましては、優秀勤労障害者表彰の審査・連絡に限り利用をさせていただきます。

記

１．応募書類

　　「**令和６年度　優秀勤労障害者　調査用紙（※過去に受賞歴がある場合）**」は、同封の調査用紙又はホームページ掲載の調査用紙データ（Word）をご利用ください。

　　　　　機構山形支部URL：https://www.jeed.go.jp/location/shibu/yamagata/

２．応募書類提出先（郵送又はメール）

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部

　　　高齢・障害者業務課　優秀勤労障害者表彰担当　あて

　　　　　〒990-2161　山形市漆山１９５４

℡：０２３（６７４）９５６７　E-mail：yamagata-kosyo@jeed.go.jp

３．応募書類提出期限

　　　令和６年４月１９日（金）必着

※ご応募にあたっては、障害者ご本人の同意が必要となります。

４．参考資料

　　　（１）山形県障害者雇用優良事業所等表彰（ホームページ掲載内容）

　　　（２）アビリンピックやまがた２０２４チラシ

別紙

**令和６年度　優秀勤労障害者　調査用紙**

**（※過去に受賞歴がある場合）**

**募集目安**

　厚生労働大臣表彰

 　過去に山形県知事感謝状、当機構理事長努力賞又は山形県高齢・障害者雇用支援協会

会長表彰等の受賞歴のある勤続年数１０年以上の方。

　独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰

過去に山形県知事感謝状、当機構理事長努力賞又は山形県高齢・障害者雇用支援協会会長表彰等の受賞歴のある勤続年数７年以上の方。

|  |
| --- |
| ふりがな氏　　名 |
| 生年月日（西暦）年　　月　　日 | 年齢（R6.6.1現在）歳 | 勤続年数（R6.6.1現在）年　　　　月 |
| ふりがな事業所名所在地　　〒電　　話 |
| 記入担当者役職・氏名 |
| 障害名・障害程度 |
| 所属部課名　　　　　　　　　　職種厚生労働省編職業分類　小分類番号（　　　　　　　－　　　　　）※厚生労働省編職業分類（令和４年改訂）の小分類番号を記載する。 |
| 表彰歴　　 |
| 推薦理由１、障害を克服している状況。（自身の体調管理、コミュニケーション手段の確保、勤務状況等について具体的に記載してください。）２、模範的な職業人として業績をあげている内容。（仕事に対する姿勢や、自己啓発・自己研鑽に努めている様子等、他の模範となる事項について具体的に記載してください。）３、職場における同僚等から敬愛されている様子。（同僚からの評価等について具体的に記載してください。）４、その他※書ききれない場合は、枠を広げる又は別の用紙に記入して下さい。 |

**記入例**別紙

**令和６年度　優秀勤労障害者　調査用紙**

**（※過去に受賞歴がある場合）**

**募集目安**

　厚生労働大臣表彰

 　過去に山形県知事感謝状、当機構理事長努力賞又は山形県高齢・障害者雇用支援協会

会長表彰等の受賞歴のある勤続年数１０年以上の方。

　独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰

過去に山形県知事感謝状、当機構理事長努力賞又は山形県高齢・障害者雇用支援協会会長表彰等の受賞歴のある勤続年数７年以上の方。

|  |
| --- |
| ふりがな　　　　　きこう　たろう氏　　名　　　　機構　　太郎 |
| 生年月日（西暦）○○○○年○○月○○日 | 年齢（R6.6.1現在）　　○○　　歳 | 勤続年数（R6.6.1現在）○○　年　　○○　月 |
| ふりがな　　　　　　かぶしきがいしゃまるまるまるまる事業所名　　　　株式会社○○○○所在地　　〒○○○‐○○○○　　山形県山形市○○町３－２－○電　　話　　○○○‐○○○‐○○○○ |
| 記入担当者役職・氏名　　○○部○○課長　　○○　○○ |
| 障害名・障害の程度身体障害（○○障害）　第○種○級 |
| 所属部課名　　　　　　　　　　職種○○部○○課　　　　　機械開発技術者厚生労働省編職業分類　小分類番号（　００６　－　０３　）※厚生労働省編職業分類（令和４年改訂）の小分類番号を記載する。 |
| 表彰歴　平成○○年　機構理事長努力賞　　　　　平成○○年　山形県知事感謝状 |
| 推薦理由１、障害を克服している状況。（自身の体調管理、コミュニケーション手段の確保、勤務状況等について具体的に記載してください。）・機械設計技術者として生産ラインの設計を行っている。・無断での遅刻や欠勤はなく、月に1～2日の有給休暇を計画的に取得しながら、仕事と生活のバランスを保っている。・発語が明瞭であり、一対一の簡単な会話は相手の口の動きを見て理解できるため、聴覚に障害があることを理解されにくく、入社当初は顧客との関わり方に悩んでいたが、現在は、顧客との顔合わせの際に自身の障害について丁寧に説明を行うことで、正しい理解を得ている。・生産ラインの設計にあたっては、プロジェクトのメンバーや顧客とのコミュニケーションが重要だが、音声認識ソフトや電子メモパッドを上手く活用しながら、信頼関係を築いている。２、模範的な職業人として業績をあげている内容。（仕事に対する姿勢や、自己啓発・自己研鑽に努めている様子等、他の模範となる事項について具体的に記載してください。）・機械工学系の大学在学中に、機械設計技術者試験の3級を取得。入社後は、製品や部品の品質検査において使用する検査用の治具設計などを担当し、実務経験を積み重ねた。その後、入社6年目に機械設計技術者試験の2級を取得、10年目に1級を取得した。・入社15年目にあたる令和元年に、高い設計力と真面目な仕事ぶりが評価され、機械設計チームのリーダーに就任した。就任後は、部下が引いた図面のアドバイスや、試作品の機能チェックで発生したトラブルの対処法を提案するなど、これまでの経験をもとに指導育成を行っている。入社当初は、自分自身の成長を目標に掲げていたが、リーダーになってからは、部下の成長が自分自身の目標になったという。３、職場における同僚等から敬愛されている様子。（同僚からの評価等について具体的に記載してください。）・身近なリーダーであることを心掛けているといい、プロジェクトが立て込んでいる時でも、相談に来た部下がいれば丁寧に対応をしている。・機械設計技術者として活躍しつつ、部下の指導育成にも励む○○氏は、同僚からも深く尊敬されており、○○氏のような機械設計技術者になりたいと口にする部下も多い。・上司からの信頼も厚く、いずれはプロジェクトのリーダーを任せたいと考えているという。４、その他・社内のクラブ活動では〇〇部に籍を置き、練習に励んでいる。公私ともに何事にも積極的に取り組む姿勢は、表彰の候補にふさわしいと考える。※書ききれない場合は別の用紙に記入して下さい。 |